令和８年11月12日発行

# 亀戸中だより



亀中ホームページクリック

*本校教育目標「思いやりの心をもち、主体的に行動できる人間を育成する」*
*「探究」「敬愛」「挑戦」*

## 「凡事徹底の日々を語れる学校生活にしよう」

生活指導主任　山本　拓




１１月の生活目標は「凡事徹底を合言葉に、足元を固めよう」です。合唱コンクールが終わり、目標を失ったような気持ちにもなるのが１１月だと思います。１２月は１年のラストスパートで前向きに頑張れると思いますが、１１月をどう過ごすかが大切です。そんな今こそ「凡事徹底」です。「凡事徹底」は「当たり前のことを手を抜かずにやろう。」という意味です。当たり前のこととして、考えてほしいことを幾つか言います。自分はできているか確認しながら聞いてください。

時間は守れていますか？遅刻せずに登校すること、授業のチャイムが鳴ったときには、座席に座ったり、移動が完了できていますか？忘れ物はしていませんか？物の扱い方は大丈夫でしょうか？トイレを綺麗に使っていますか？手を洗った後はハンカチを使っていますか？クロームブックの使い方は大丈夫ですか？学習に関係のない使用はしていませんか？壊れないように大切に保管していますか？委員会や係の役割を果たせていますか？給食当番や掃除の役割を果たせていますか？



今言ったようなことを当たり前に、手を抜かずにできている人の心は日々確実に成長しています。当たり前のことなので全部大事にしてほしいのですが、今日は特に、委員会や係、給食当番や掃除などの役割についての話をします。



今までに生徒の皆さんからこのような質問をされたことが何回もあります。「学級委員会など、委員会に所属していると、高校受験で有利になりますか？」という質問です。私なりの答えは、「自分をアピールするチャンスは増えるかもしれないね」という感じです。高校受験を例にして話をすると、皆さんが中学校で取り組んできたことを高校の先生たちは知りたがります。面接では必ずこのように聞かれると思ってください。「亀戸中学校はどのような学校ですか」これは学校全体のことなので答えやすいですが、問題は次です。「あなたは何をどのように頑張りましたか？」という質問です。「委員会に入っていました」「部活を三年間頑張けました」という答えが欲しいのではありません。「委員会に入って、どのような活動を、このような気持ちで頑張りました」「部活を続けることで、このような部分が成長しました」という「活動の中身」を知りたいのです。「どのように頑張ったか」という中身が語れる人は「中学校生活が充実していた」と言えます。自分の力で学校





生活を充実させられる人を高校は求めます。「良い学校」に入ったからといって、勝手に自分が成長するわけではありません。「自分の力で成長を目指そうとする人」を高校や社会は求めます。

もう一つエピソードを紹介します。ある生徒が受験を希望していた高校があります。その高校の先生から私が担任の立場として聞かれたことがあります。「スポーツの実力が素晴らしいのは既に知っています。普段はどのような生徒ですか？」と聞かれました。委員会には入っておらず、努力はしていましたが、勉強が得意とは言えないような状況で、学校の部活にも入っていない生徒のことでした。ですが、その生徒の素晴らしさを語るのは簡単でした。「クラスのために、毎日少しでも早く給食準備が進むように配膳台のカバーを外して、ワゴンも運んだりしてくれます。それをほとんど毎日続けていました。そういうことが当たり前にできる生徒です」そのように伝えました。もちろんこの事実だけで高校に合格できたわけではありませんが、高校の先生がその生徒の良さをすごく共感してくれたことを覚えています。

「委員会や部活」に入っている人は、成長のチャンスが多くなることは事実だと思います。ぜひ、自分で作り出した成長のきっかけを活かして、「ただ所属しているだけ」ではなく「活動の中身」を磨いてください。人から聞かれたときに「語れる」活動をしてください。一方で、配膳台とワゴンの話をした通り、自分が頑張ってきたこととして語れる内容は行事や委員会、部活だけではありません。日頃の授業やクラスメイトとの関わり方、給食当番や掃除当番、最初に話した凡事徹底すべき内容のすべてが取り組み次第では「頑張ったこと」として語れる内容になります。時間を守ることやハンカチを使うことも同じだと思います。その取り組みの「中身」が語れる人たちになってほしいです。「立場や環境が人を成長させる」という言葉もありますが、少し違うなと思います。生徒会に入ったから、学級委員になったから、委員会に入ったから、勝手に成長するわけではありません。成長を決めるのは「自分自身の行動」です。日常の何気ない場面で、凡事徹底、「自分なりの想いをもって」取り組むことで、誰もが中学校生活の成果として語ることのできる立派な経験を作れます。それが「充実した学校生活」だと思います。「自分なりに」で良いと思います。今日から始められれば十分です。一緒に頑張りましょう！

